

地質ニュース

第514号 1997年6月

口 絵

地質標本館新規展示「付加体の形成と放散虫化石」…… 利光 誠一・斎藤 眞

巻頭エッセイ：情報化の進展と地球科学の今後について…… 津 宏治・6

ジュラ紀付加体の形成と放散虫化石—地質標本館新規展示解説—

…… 斎藤 眞・利光 誠一・杉山 和弘

竹内 誠・栗本 史雄・中江 訓・7

日本のジュラ紀付加コンプレックス研究の進展…… 斎藤 眞・14

地熱探査の目的は3要素の解明か？…… 野田 徹郎・23

遅すぎた発見—明神海丘熱水硫化物チムニー—…… 飯笹 幸吉・30

—第30回IGC(北京)T306地質巡検参加報告—

内モンゴル自治区北部オルドス高原の石炭・地質・自然(第Ⅱ部：巡検)

…… 徳橋 秀一・鈴木 祐一郎・38

タイの鉱物資源(4)南部ラノン地方の錫—カオリン鉱床…… 須藤 定久・57

新刊紹介「深海底からみた地球」…… 倉本 真一・66

編集後記…… 67

表紙

ペルム紀放散虫化石“*Neobaillella ornithoformis* Takemura et Nakaseko”：地質標本館の新規展示「付加体の形成と放散虫化石」の作成に際してつくられた復元拡大模型であり、第1展示室に展示されている。本種は丹波帯などのペルム紀チャートの中から特徴的に産する。本種は実際には頂部から刺の先までの高さ250 μ m程であるが、模型は約1,500倍に拡大され、35cm程である。写真はステレオ写真となっており、立体視(平行法)ができる。詳しくは本文及び口絵参照。(写真と文：地質調査所 地質部 斎藤 眞・地質調査所 地質標本館 利光誠一)

通商産業省
工業技術院

地質調査所

〒305 茨城県つくば市東1-1-3

Tel. 0298-54-3520, Fax. 0298-54-3504

Geological Survey of Japan